



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンマルクホールディングス
コード番号 3395 URL <http://www.saint-marc-hd.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 直之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 綱嶋 耕二

TEL 086-246-0309

四半期報告書提出予定日 平成28年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	16,143	1.8	1,280	△15.9	1,291	△15.9	766	△14.4
28年3月期第1四半期	15,859	10.1	1,522	△6.9	1,535	△5.9	895	△4.8

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 760百万円 (△15.7%) 28年3月期第1四半期 902百万円 (△4.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	34.52	—
28年3月期第1四半期	40.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	51,763	42,290	81.7
28年3月期	53,262	42,263	79.3

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 42,290百万円 28年3月期 42,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	29.00	—	33.00	62.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	31.00	—	31.00	62.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,734	6.2	3,961	7.6	3,994	3.7	2,388	4.8	107.50
通期	69,961	5.9	8,435	8.9	8,500	7.0	4,824	9.6	217.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
(注) 当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	22,777,370 株	28年3月期	22,777,370 株
29年3月期1Q	563,570 株	28年3月期	563,544 株
29年3月期1Q	22,213,817 株	28年3月期1Q	22,214,243 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
4. 補足情報 「参考資料」	10
(1) 仕入実績	10
(2) 販売実績	10
(3) 種類別販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢には引き続き改善の動きがみられたものの、急激な円高や新興国経済の減速等により企業業績に陰りがみえ、景気の先行きについては、不透明感が強まりつつ推移いたしました。

外食業界におきましては、物価上昇率の低下により実質所得が押し上げられているものの、消費マインドの低迷から節約志向は根強く、個人消費は引き続き低調にて推移いたしました。また、人件費関連コストの上昇による収益悪化など、依然として厳しい経営環境が継続するものと予想されます。

このような状況の下、当社グループにおきましては、既存店のQSC向上を重点課題とし、新メニューやセットメニューの開発と実験を進めるとともに、人員体制の整備、教育によるサービス力向上に取り組み、品質向上、営業力強化、パリュー感を高める施策に注力してまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第1四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・パケット直営店1店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営店7店舗、神戸元町ドリア直営店4店舗、サンマルクカフェ直営店9店舗、倉式珈琲店直営店3店舗をそれぞれ出店（当第1四半期連結累計期間出店数：直営店24店舗）し、これにより当社グループ全業態の当第1四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店808店舗、フランチャイズ店67店舗、合計875店舗体制となりました。

これらの結果、新店による増収効果はあったものの、経営環境の厳しさの影響もあり、既存店売上高の減少やコストコントロールが一部吸収しきれず、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高161億43百万円（前年同期比1.8%増）、経常利益12億91百万円（同15.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億66百万円（同14.4%減）となりました。

セグメント別の業績等は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は89億55百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は7億49百万円（同20.0%減）となりました。

喫茶事業売上高は71億88百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は8億57百万円（同4.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は517億63百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億98百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は113億69百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億25百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等や未払消費税等の支払、有形固定資産の取得等に伴う未払金の減少により、現金及び預金が13億73百万円減少したこと及び売掛金が6億37百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は403億94百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億26百万円増加となりました。これは事業拡充のための直営店出店等に伴う建物及び構築物が5億43百万円増加したこと、非連結子会社への貸付等により、投資その他の資産のその他が1億9百万円増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は59億26百万円となり、前連結会計年度末と比較して18億54百万円の減少となりました。これは未払法人税等が14億80百万円、買掛金が3億23百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は35億47百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億28百万円の増加となりました。これは主に店舗設備の割賦購入による長期未払金が2億7百万円、直営店出店に伴う資産除去債務が1億22百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して27百万円増加して422億90百万円となりました。この結果、自己資本比率は81.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月12日の決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,404,073	8,030,642
売掛金	3,282,954	2,645,067
商品	150	151
原材料及び貯蔵品	283,105	291,391
その他	640,452	416,777
貸倒引当金	△16,122	△14,935
流動資産合計	13,594,614	11,369,095
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,819,774	21,362,851
土地	3,323,790	3,323,790
その他(純額)	2,216,191	2,283,170
有形固定資産合計	26,359,756	26,969,812
無形固定資産		
その他	181,406	175,088
無形固定資産合計	181,406	175,088
投資その他の資産		
敷金及び保証金	9,364,202	9,377,972
その他	3,762,432	3,871,791
貸倒引当金	△84	△84
投資その他の資産合計	13,126,550	13,249,680
固定資産合計	39,667,714	40,394,582
資産合計	53,262,328	51,763,677
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,201,945	1,878,238
未払金	2,857,698	2,745,870
未払法人税等	1,820,246	340,126
引当金	62,768	74,341
資産除去債務	18,698	—
その他	819,059	887,444
流動負債合計	7,780,417	5,926,022
固定負債		
退職給付に係る負債	150,726	154,808
資産除去債務	2,622,201	2,744,642
その他	445,699	647,895
固定負債合計	3,218,627	3,547,346
負債合計	10,999,044	9,473,368

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,039,016	3,039,016
利益剰余金	38,729,362	38,763,053
自己株式	△1,254,538	△1,254,617
株主資本合計	42,245,019	42,278,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,265	11,677
その他の包括利益累計額合計	18,265	11,677
純資産合計	42,263,284	42,290,308
負債純資産合計	53,262,328	51,763,677

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	15,859,241	16,143,559
売上原価	3,509,231	3,583,506
売上総利益	12,350,010	12,560,052
販売費及び一般管理費	10,827,620	11,279,785
営業利益	1,522,389	1,280,266
営業外収益		
受取利息	2,386	2,178
受取配当金	3,311	2,912
受取賃貸料	35,811	34,931
その他	9,876	8,120
営業外収益合計	51,386	48,142
営業外費用		
支払賃借料	30,612	30,612
その他	7,562	6,230
営業外費用合計	38,175	36,843
経常利益	1,535,600	1,291,566
特別損失		
固定資産除却損	77,991	74,961
減損損失	11,672	11,839
特別損失合計	89,663	86,801
税金等調整前四半期純利益	1,445,937	1,204,764
法人税、住民税及び事業税	487,862	358,077
法人税等調整額	62,740	79,939
法人税等合計	550,603	438,017
四半期純利益	895,333	766,747
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	895,333	766,747

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	895,333	766,747
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,749	△6,587
その他の包括利益合計	6,749	△6,587
四半期包括利益	902,083	760,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	902,083	760,160
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト		合 計	調 整 額 (注) 1	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 2
	レストラン	喫茶			
売上高					
外部顧客への売上高	8,946,344	6,912,897	15,859,241	—	15,859,241
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,946,344	6,912,897	15,859,241	—	15,859,241
セグメント利益	937,180	900,761	1,837,941	△315,551	1,522,389

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用315,551千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「喫茶」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書 計上額 (注)2
	レストラン	喫茶			
売上高					
外部顧客への売上高	8,955,205	7,188,354	16,143,559	—	16,143,559
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,955,205	7,188,354	16,143,559	—	16,143,559
セグメント利益	749,299	857,696	1,606,995	△326,728	1,280,266

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用326,728千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「喫茶」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更によるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

「参考資料」

(1) 仕入実績

当第1四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	2,139,699	100.1
喫茶	1,449,522	105.0
合計	3,589,222	102.1

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	8,955,205	100.1
喫茶	7,188,354	104.0
合計	16,143,559	101.8

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 種類別販売実績

当第1四半期連結累計期間の種類別販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

種類	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C関連等売上		合計	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
レストラン	8,556,833	101.1	78,905	74.9	319,466	84.9	8,955,205	100.1
喫茶	7,065,638	104.1	13,832	64.5	108,883	103.0	7,188,354	104.0
合計	15,622,471	102.4	92,738	73.2	428,349	88.9	16,143,559	101.8

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。